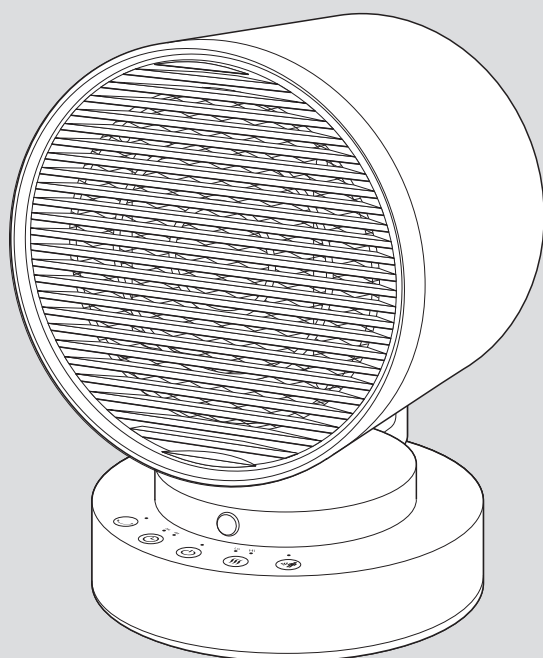


# THREEUP

## 人感センサー付 セラミックヒーター キャノンヒート

### CH-T1958

## 取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

### 目次

#### はじめに

安全上のご注意	1~2
各部のなまえ	3~4
パッケージ内容	4
別売品	4
仕様	4

#### ご使用の前に

設置について	5
--------	---

#### ご使用方法

運転する(連続運転)	6
停止する	6
ヒーターの強弱を切り替える	7
オフタイマーを使う	7
首振り運転する	8
人感センサーモード (自動運転)	9~10

#### 点検・修理

お手入れと保管方法	11~12
コンセントの点検	13
故障かな?と思ったら	14
保証・サービス	裏表紙

# はじめに

## 安全上のご注意

- 火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」と「**⚠ 注意**」に区別していますが、それぞれ次の意味を表します。

<b>⚠ 警告</b>	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
<b>⚠ 注意</b>	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容のご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「**⚠ 警告**」・「**⚠ 注意**」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「**⚠**」にて表示しています。

「安全上のご注意」と同様必ず守ってください。

## **⚠ 警告**

### 分解や修理、改造をしないでください。

- 火災、感電、ケガの原因になります。修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

### お子様だけで使ったり、触れさせたりしないでください。

- 感電やケガ、事故の原因になります。

### 使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

- 落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 高温になる場所、湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

### 屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。

- 絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

### 電源プラグは必ず、容量15A (1500W) 以上の家庭用コンセント交流100Vに単独で接続してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちる原因や、火災の原因になります。

### 電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

- ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

### 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。

- コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

### 長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 絶縁劣化による火災、感電の原因になります。

### 火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

- 本体の変形によるショート、発火の原因になります。

### 浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。

本体を水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。

- 感電、火災、故障の原因になります。

### 引火性のもの(殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナーなど)の近くで使用しないでください。また、本体に向かって吹きかけないでください。

- 爆発や火災の原因になります。

### 電源プラグや電源コードを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

### すき間にピンや針金などの異物を入れないでください。

- 感電やケガの原因になります。

### 周囲に十分な空間を確保して設置してください。

- 設置距離について、P.5「設置について」を必ずご確認ください。

### 運転中と運転直後はガードに触れないでください。

- 高温になっているため、やけどのおそれがあります。

## 警告

吹出口や吸気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。

- 衣類やカーテンなどで吹出口や吸気口がふさがれたり、本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

靴や衣類などの乾燥には使わないでください。

- 火災ややけどの原因になります。

長時間、身体と同じ場所を温め続けしないでください。特に皮膚の弱い方、乳幼児、温度調節を自分でできない方には周りの方が注意してください。

- やけど、低温やけどの原因になります。

カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使用しないでください。

- 火災の原因になります。

電源をとるコンセントのすぐ下に本体を設置しないでください。

- 過熱により電源コードや電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の原因になります。

本体の電源スイッチが自動的に入るようなプログラムタイマーや、その他の装置を使用しないでください。

- ヒーターが可燃物で覆われた場合や、間違っって設置された場合に火災の原因になります。

異常時、故障時は直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コードや電源プラグ、本体などが触ることが出来ないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。

※初めてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分のおいがすることや、まれに少量の煙が出る場合がありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

その他異常と思われたときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

## 注意

使用前に、本体や各部品に損傷がないか点検してください。また、誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。

- 故障の原因になります。

お手入れや持ち運び、保存の際は、本体が冷めてから行ってください。

- 火災ややけどの原因になります。
- 移動するときは取っ手を持って持ち運んでください。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

- 塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

ガードの内側や可動部に指を入れないでください。

- やけどやケガの原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

- 転倒などによりケガや事故の原因になります。振動のない水平な場所で使用してください。

製品の上に物を置かないでください。

- 転倒によるケガや故障の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。

- 故障の原因になります。

衣類の真下に設置しないでください。

- 衣類が落下すると、吸い込みによる故障の原因となります。

活性炭フィルターを取り外して運転しないでください。

- 本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、事故や故障の原因になります。

本体の周囲で薬品などを使用しないでください。

- 本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

- テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

壁や家具の近くで使わないでください。

- 熱で壁や家具が変形や変色、火災の原因になります。

犬や猫などのペット用として使用しないでください。

- ペットが本体や電源コードを傷つけ、火災や故障の原因になります。

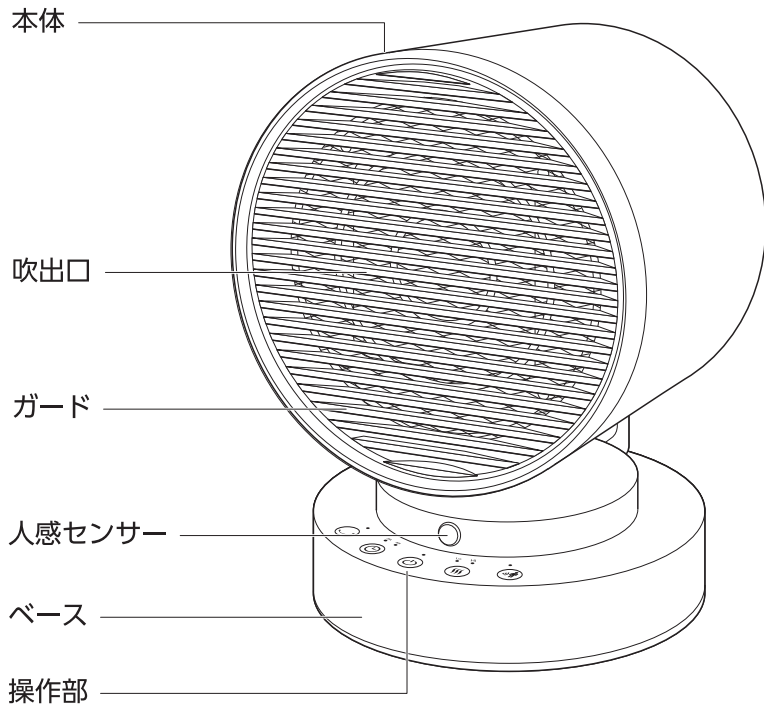
お手入れは定期的に行ってください。

- 「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

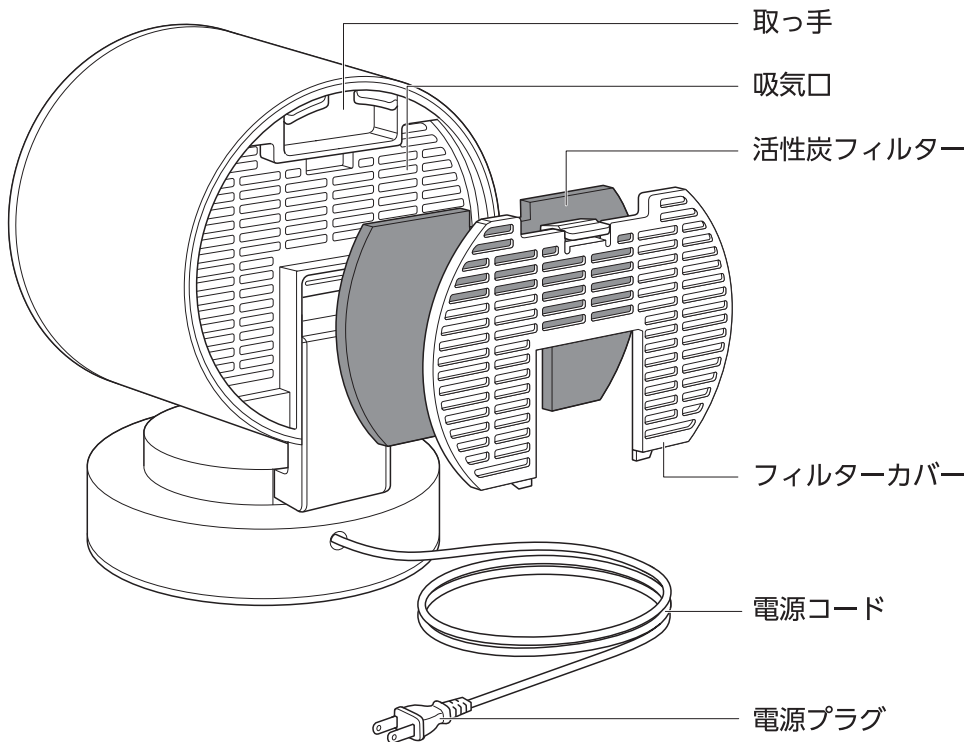
# はじめに

## 各部のなまえ

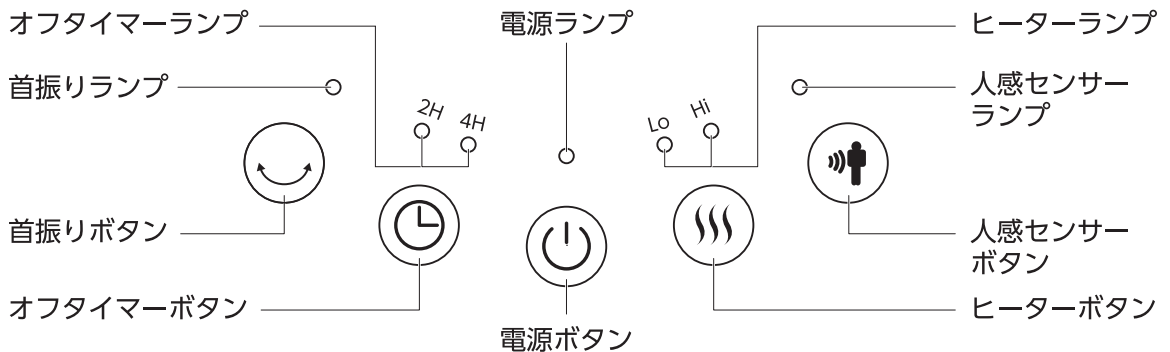
### 正面



### 背面



## 操作部



## パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1

## 別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	商品単価（税別）
活性炭フィルター	1	800 円

- ※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。
- ※ 販売価格は予告なく変更する場合があります。

## 仕様

サイズ	幅21×奥行20×高さ28.5cm		
本体重量	約2.5 kg	材質	PP、ABS
電源	AC100V 50/60Hz	消費電力	強/1000W、弱/600W
コード長	約1.5 m	1時間あたりの電気代	約27円(強/1000W連続運転時)
運転モード	強/弱 (2段階切替)、人感センサー (自動運転)		
オフタイマー設定	2・4時間	自動オフタイマー	8時間
首振り	左右自動首振り(60°)、上下首振り(上下15°・30°/手動)		
センサー感知範囲	上下10°、左右60°(3m)		
安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット、転倒時自動オフスイッチ		

- ※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

# ご使用の前に

## 設置について

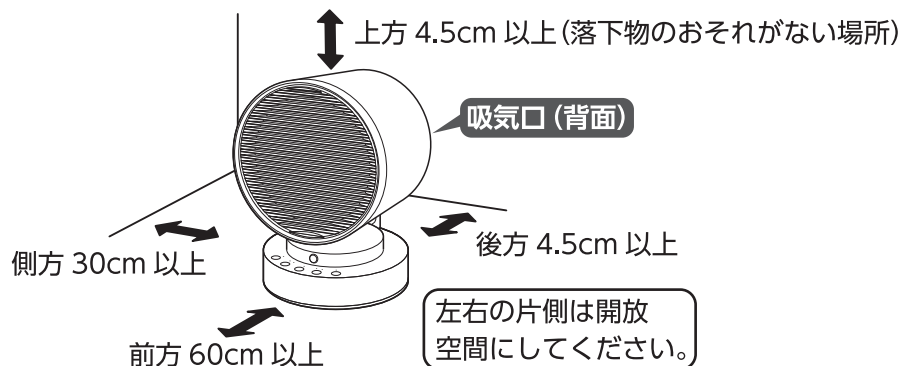
### ■ 設置場所

#### 警告

- 下図の設置距離を必ずお守りください。
  - ・ 左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。
  - ・ カーテン、ふとん、新聞など燃えやすいものの近くで使用しないでください。また、本体の上に物をかぶせないでください。
  - ・ 本体背面の吸気口が、壁やカーテンなどでふさがれないよう設置してください。
- 極端に高温になる場所や、直射日光の当たる場所には設置しないでください。

#### 注意

- 家具や電化製品、壁などに直接温風が当たるような場所に設置しないでください。
- 水平で安定している場所に設置してください。
  - ・ 斜面や毛足の長い敷物の上など不安定な場所に設置すると、転倒などの原因になります。
  - ・ 転倒時自動オフスイッチが作動して電源が入らない原因となります。



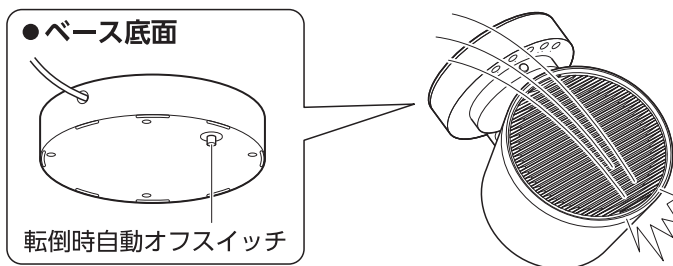
### ■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したときは自動で運転を停止します。

本体が転倒したり、傾いたり、浮いたりした時に自動で運転を停止します。

転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。

引き続きご使用の場合は、水平な床面にもう一度設置して「ピッピッ」と電子音が鳴った後、「運転」ボタンを押してください。



### ■ 安全装置

温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動し、自動的に運転が停止します。

少し時間をおいて温度が下がれば、運転を再開できます。

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。

その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

# ご使用方法

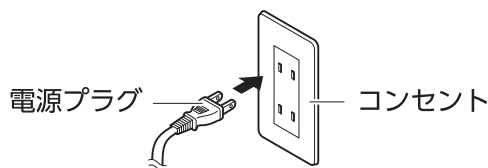
## 運転する(連続運転)

### 警告

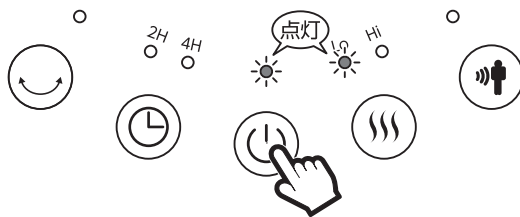
- 電源プラグは奥までしっかり差し込み、電源コードは束ねたまま使用しないでください。
- 運転中と運転直後のガードは高温になっていますので、触らないでください。
- 電源プラグはコンセントから外れないよう、しっかりと確実に差し込んでください。
- 電源プラグは必ず、容量 15A(1500W)以上の家庭用コンセント交流 100V に単独で接続してください。
- 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。

※初めてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分の臭いがすることや、まれに少量の煙が出ることがありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込むと“ピッピッ”と電子音が鳴ります。



- ② 『電源』ボタンを押します。  
“ピッ”と電子音が鳴って『電源』ランプと『ヒーター』ランプ [Lo] (弱) が点灯し、ヒーター [Lo] (弱) で運転を開始します。

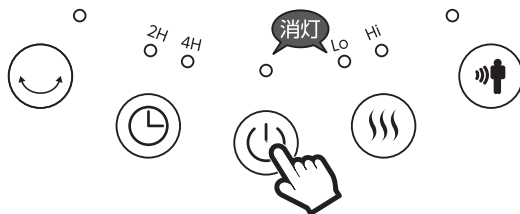


## 停止する

### 警告

- 電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押して運転を停止してください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。
- 長時間ご使用にならない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

運転中にもう一度『電源』ボタンを押します。  
“ピッ”と電子音が鳴って全てのランプが消灯し、運転が停止します。  
運転停止後は内部冷却のため、約30秒間送風運転を行います。



(例：ヒーター [Lo] (弱) 運転停止時の場合)

### 自動オフタイマー機能

電源の消し忘れを防止するため、最後の操作から8時間後に自動停止します。

※人感センサーモード設定中は、自動オフタイマーは働きません。

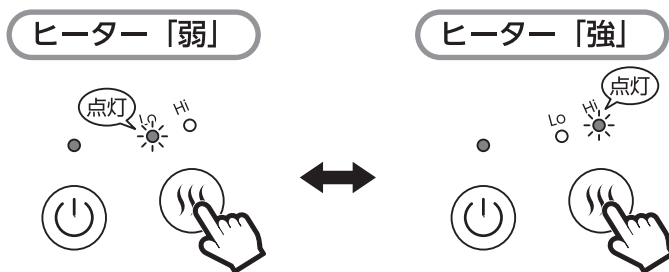
# ご使用方法

## ヒーターの強弱を切り替える

運転中に『ヒーター』ボタンを押します。

『ヒーター』ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴り、ヒーターの強弱が切り替わります。設定に応じて『ヒーター』ランプ「Lo」(弱)または「Hi」(強)が点灯します。

※強弱の切り替えは発熱量を切り替えるもので、温風の風量は変わりません。



## オフタイマーを使う

運転中に『オフタイマー』ボタンを押します。2H/4Hの中から運転停止までの時間を設定します。

『オフタイマー』ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴り、設定時間が切り替わります。

設定時間に応じて『オフタイマー』ランプが点灯または消灯します。





## 首振り運転をする



### 注意

- 上下方向の角度調節を行う際、背面の可動部に指を挟まないよう注意してください。
- 左右方向の首振り運転時、可動部に指を入れしないでください。

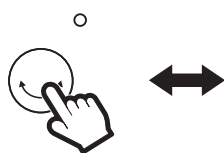
### ■ 左右方向の首振り

運転中に『首振り』ボタンを押します。

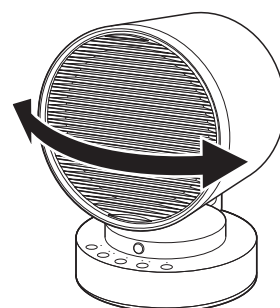
“ピッ”と電子音が鳴って『首振り』ランプが点灯し、約60°(左右各30°)の首振り運転を開始します。

- 首振り運転を停止させる場合は、もう一度『首振り』ボタンを押します。  
“ピッ”と電子音が鳴って『首振り』ランプが消灯し、首振り運転が停止します。
- 首振り運転をスムーズに回転させるため、本体に構造上のすき間があり、少しぐらつきますが、故障ではありません。

OFF



ON



約60°

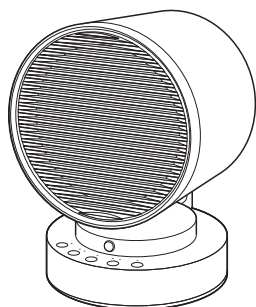
### ■ 上下方向の首振り

手動で角度を調節します。下図の角度で可動します。

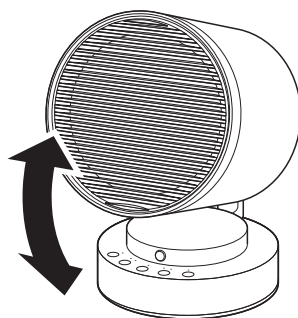


### 警告

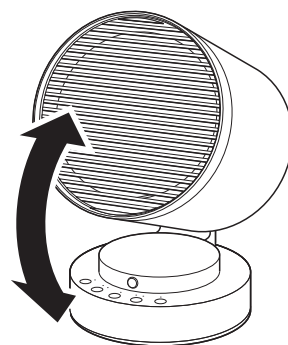
運転中と運転直後のガードは高温になっていますので、触らないでください。  
やけどの原因になります。



正面



約15°



約30°

# ご使用方法

## 人感センサーモード(自動運転)

### ■ 人感センサーについて

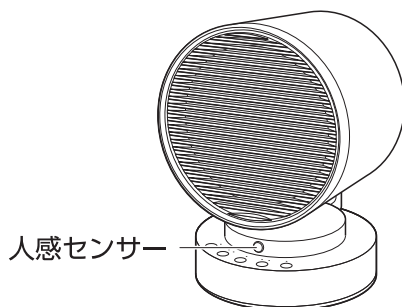
人感センサーは人の動きを感知して、自動的に運転・停止を行います。

人感センサーが連続で約2分間、人を感知しないと『人感センサー』ランプが点滅して待機状態となります。送風運転(約30秒間)した後、運転を停止します。

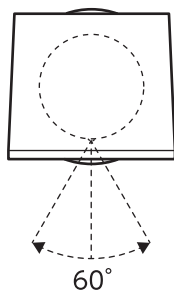
人感センサーが人を感知すると“ピッ”と電子音が鳴り、運転を再開します。

#### ● 人感センサーの感知範囲

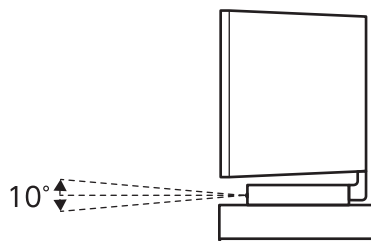
感知の範囲以内で連続的に感知される場合は、運転時間が延長されます。



#### 左右方向 感知範囲



#### 上下方向 感知範囲



感知距離は、約3m以内です。

● 人感センサーの特性上、下のような場所では作動しなかったり誤作動する場合があります。

- カーテンの近くや風などで揺れるもの(植物など)の近く
- センサーや感知範囲に直射日光が当たる場所
- エアコンなどの送風を受ける場所
- 温度の高い場所や急激な温度変化のある場所
- 湿度の高い場所や加湿器の近く

● 人がいても、ゆっくりとした動きや早い動き、小さい動き、じっとしている時などには人感センサーは感知しません。

● 人以外のペットや熱を出す器具(他の暖房器具・お掃除ロボットなど)にも反応する場合があります。

## ■ 人感センサーモードを設定する



### 注意

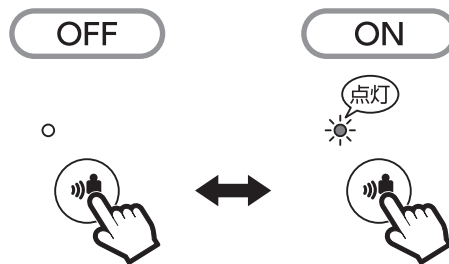
人感センサーに直射日光があたると誤作動をおこす場合があります。  
人感センサーに直射日光の当たる場所では使用しないでください。

運転中に『人感センサー』ボタンを押します。

“ピッ”と電子音が鳴り、『人感センサー』ランプが点灯して人感センサーモード (自動運転) に切り替わります。

人感センサーモードを停止するには、もう一度『人感センサー』ボタンを押します。

“ピッ”と電子音が鳴って『人感センサー』ランプが消灯し、連続運転に切り替わります。



## お手入れと保管方法

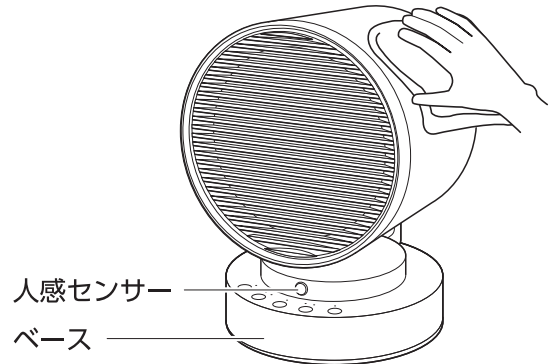
### 警告

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や事故の原因になります。
- 運転中と運転直後のガードは高温になっていますので、触らないでください。火災ややけどの原因になります。

### ■ 本体・ベース・人感センサーのお手入れ

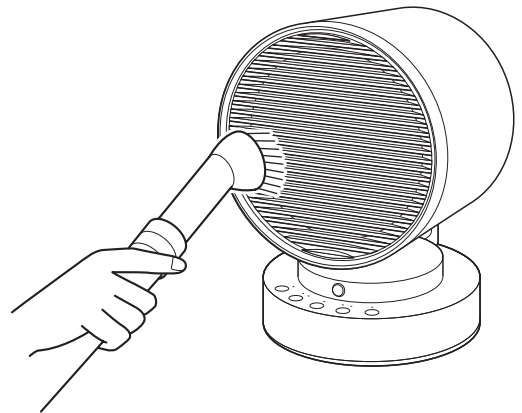
ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ってください。そのあと乾いた柔らかい布で拭いて、十分に乾かしてください。

お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



### ■ ガードのお手入れ

すき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。



### 吹出口周囲の変色について

ご使用方法、ご使用状況によっては吹出口の周囲が変色する場合がありますが、性能や安全性に問題はありません。

また変色や変形の原因になりますので、以下のようなご使用方法はお避けください。

- フィルターが汚れ、詰まっている状態での使用。
- 吸気口、吹出口付近に障害物がある状態での使用
- 机の下など狭く囲まれた場所での使用

## ■ 吸気口のお手入れ

### お願い

吸気口および活性炭フィルターは、本機の性能を維持するため、2週間に1回以上お手入れをしてください。

フィルターカバーを取り外してお手入れをしてください。

- ① フィルターカバーのフックを押さえながら手前に引いて取り外します。
- ② フィルターカバーから活性炭フィルターを取り外します。  
※フィルターに活性炭を練り込んでいるため、手で触ると黒い粉が付着しますが、性能などには影響ありません。
- ③ フィルターカバー、活性炭フィルター、吸気口をお手入れします。

#### フィルターカバーのお手入れ

本体と同じ方法でお手入れをしてください。

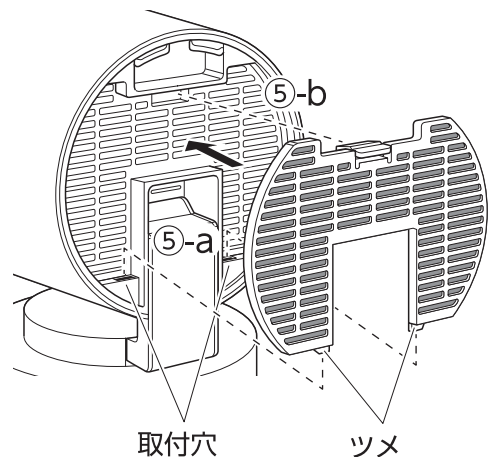
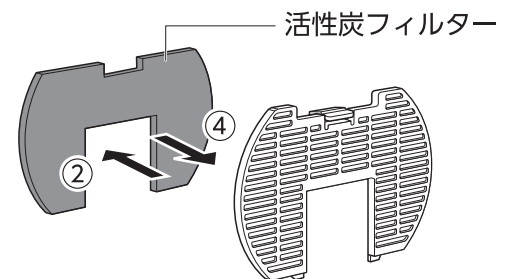
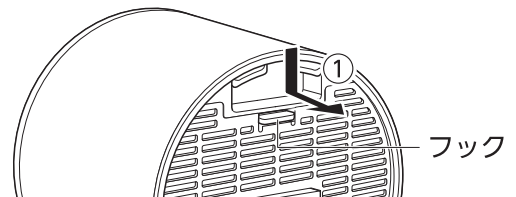
#### 活性炭フィルターのお手入れ

掃除機でホコリを吸い取ってください。  
※活性炭フィルターは水洗いしないでください。

#### 吸気口のお手入れ

すき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

- ④ 活性炭フィルターをフィルターカバーに装着します。
- ⑤ フィルターカバーを本体に取り付けます。  
a. フィルターカバーのツメ (2か所) を本体の取付穴に差し込みます。  
b. フィルターカバーのフックを本体に引っかけます。



## ■ 保管方法

お手入れのあと、各部の水分をよく拭き取り、陰干しして十分に乾かしてください。

湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。

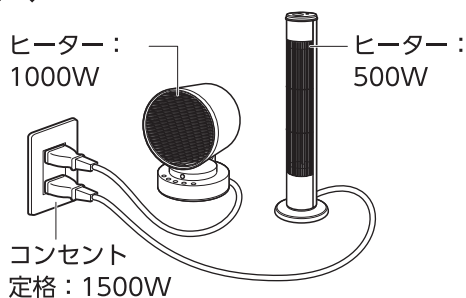
本体にポリ袋をかぶせ、お買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

## コンセントの点検

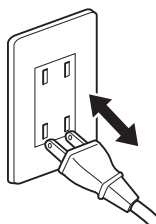
- コンセントなどの配線器具には寿命があります。  
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

### 誤った使いかたの例

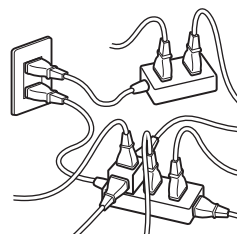
✕ 定格容量いっぱいを使用する



✕ 電源プラグを斜めに抜き差しする



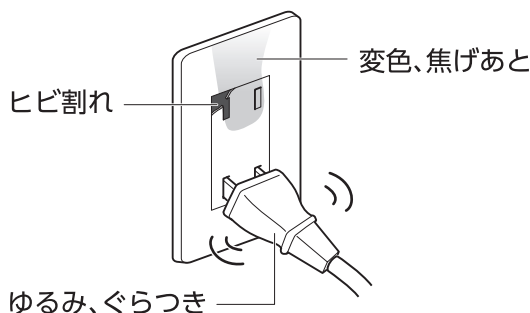
✕ タコ足配線する



- 下記のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- ・電源プラグの抜き差しがゆるい。
- ・電源プラグやコンセントが熱い。
- ・表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
- ・表面が変色、焦げあとがある。

そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。



### ⚠ 注意

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。  
焼損や火災、事故の原因になります。

## 長年ご使用のヒーターはよく点検を行ってください。

- このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードや電源プラグが破損した。
- ・コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・焦げ臭いにおいがする。
- ・その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまで点検をご依頼ください。

## 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処方法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグが外れている。</li> <li>●『電源』ボタンを押していない。</li> <li>●安定した水平な場所に置かれていない。 (転倒時自動オフスイッチが働いている)</li> <li>●人の動きがない状態で人感センサー(自動運転)が働いている。</li> <li>●内部温度が異常に上がり、安全装置が働いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグをコンセントに接続してください。</li> <li>●『電源』ボタンを押してください。</li> <li>●安定した平らな床面でお使いください。</li> <li>●人感センサーに動きを感知させるか、連続運転に切り替えてください。</li> <li>●連続運転で本体が過熱状態になり、安全装置が働いています。しばらく待って、本体が冷めてから再度運転をしてください。</li> </ul>
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オフタイマーを設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オフタイマーを設定すると、設定時間になると自動的に運転を停止します。設定をOFFにするか設定を変更してください。</li> </ul>
電源を切っても停止しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運転停止直後である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運転停止直後は、ヒーターの冷却のため約30秒送風が続きます。故障ではありません。</li> </ul>
運転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●不安定な場所に設置している。</li> <li>●吸気口または活性炭フィルターが汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安定した水平な場所に設置してください。</li> <li>●吸気口、活性炭フィルターのお手入れをしてください。吸気口、活性炭フィルターは定期的にお手入れをしてください。</li> </ul>
異臭がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●はじめて運転をしたため。</li> <li>●ガード、吸気口、活性炭フィルターが汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●はじめてご使用になる時は、においやまれに少量の煙が発生することがありますが、異常ではありません。ご使用にともない次第になくなります。</li> <li>●ガード、吸気口、活性炭フィルターのお手入れをしてください。ガード、吸気口、活性炭フィルターは定期的にお手入れをしてください。</li> </ul>
人感センサーが感知しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人感センサー(自動運転)モードに設定されていない。</li> <li>●人感センサーが汚れている。</li> <li>●人感センサーに直射日光が当たる場所や、カーテンなど風で揺れるものの近くに設置している。</li> <li>●人感センサーの感知範囲を超えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『人感センサー』ボタンを押して人感センサーモードに切り替えてください。</li> <li>●人感センサーのお手入れをしてください。</li> <li>●設置環境について、P.9「人感センサーモード(自動運転)」をご確認ください。</li> <li>●人感センサー感知範囲内でお使いください。(上下10°、左右60°、感知距離3m以内)</li> </ul>

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。